

長浜市立湖北病院 地域医療連携室だより



令和8年4月号 No.33

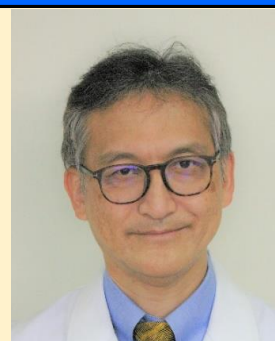
- へき地医療拠点病院
- 救急告示病院
- 病院群輪番制病院
- 在宅療養支援病院
- 地域包括医療・ケア認定施設
- 臨床研修病院(協力型)

地域住民のための病院づくりを推進し、地域包括医療・ケアを実践します。

院長挨拶

令和8年度の始めにあたり

長浜市立湖北病院長 納谷 佳男



湖北圏域医療機関の皆様、地域の皆様には日頃から長浜市立湖北病院の運営にご理解とご協力を賜りありがとうございます。心より感謝申し上げます。長浜市立湖北病院は、市立長浜病院とともに地方公営企業法全部適用のもと、長浜市病院事業が運営を担い、市民に愛される病院を目指しています。

昨年度のNHK報道や、京都新聞・中日新聞の記事で皆様もご存知のことと思いますが、当院本館は築42年を超え老朽化が著しく進んでいます。私は巷で雨漏りおじさんと呼ばれている？なんて話も伺いましたが、正しくは雨漏りではなく水漏れです（笑）

昨年、病床数120床での実施設計が終了しましたが、病院事業の赤字と市の財政逼迫から、建て替えは決定していますが再度、規模や機能を見直しているところです。民間病院も公立病院も経営は逼迫し、かつ人口減少も著しい長浜市北部において持続可能な医療を提供し続けるためには何が必要で何を削らなければいけないのか、経営を改善し、市の支援を少しでも減らすにはどうしたら良いか、スタッフ一同、日夜知恵を絞っています。残念ながら、当院の規模の公立病院が黒字化することはまず無理で、今後、400床未満の公立病院は経営が困難になることが予想されている中、へき地拠点病院としてこの地域の医療をなんとしても守り抜く、強い決意で臨んでいます。

長浜市立湖北病院の今後としては、滋賀県及び滋賀家庭医療学センターからの医師派遣に加え、滋賀医科大学総合診療学講座の辻喜久特任教授のご協力のもと、総合診療外来を3年前から開始しました。今後の当院は、総合診療と透析を含めた泌尿器科が柱となって広大な長浜市北部の高齢者救急と在宅診療を中心に地域密着型の運営を進めてまいります。

地域の医療福祉を守る国保直診病院として、地域包括ケアシステムの充実を図り、疾病予防、健康増進から医療介護サービスまで幅広いサービスを地域にシームレスに提供し、住民の皆様がこの地域で健康で安心して暮らしていただけるよう取り組んでいきます。

今後とも、ご支援ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



医師の異動

着任（令和8年度4月1日付け）

退職（令和8年3月31日付け）

内科 角田 健吾（つのだ けんご）

内科 三崎 真依（みさき まい）

内科 角田 紗耶加（つのだ さやか）

内科 高石 亮太（たかいし りょうた）

内科 森本 数万（もりもと すうま）

長浜市立湖北病院 地域包括ケア事業部 地域医療連携室

〒529-0493 滋賀県長浜市木之本町黒田1221 TEL 0749-82-3360(直通) FAX 0749-82-3646(直通)

受付時間 午前8時30分～午後5時00分(水曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)